

日経パソコンEdu

日経パソコンは2013年4月に、大学や専門学校、高等学校などの教育機関を対象としたコンテンツ提供サービス「日経パソコンEdu」を開始しました。情報リテラシーの学習に役立つ多彩なコンテンツを、PDF形式で提供します。クラウドサービスの強みを生かし、紙の教科書では扱えない最新的话题やキーワードの解説も即座に掲載します。

日経パソコンEduは、授業におけるテキストとしてご活用いただけます。学生の自習用教材にも適しており、資格取得のための学習や就職活動の準備などに役立ちます。また、ICTスキルを向上させたいビジネスパーソンなど、個人の方のご利用も可能です。

サービスの詳細は、下記のWebサイトで解説しています。教育機関の方には、試用版のIDもご用意しています。お気軽にお問い合わせください。

教職員／学生・生徒に役立つ！

5つの特徴

- ① 豊富なコンテンツが読み放題
- ② 新語や最新技術の解説も即座に掲載
- ③ 目的に応じた学習コースを用意
- ④ ミニテストで学習の成果を確認できる
- ⑤ コンテンツを基に独自教材を作れる



価格(税込み)

教育機関で利用する場合

1ライセンス当たり年額1890円

個人で利用する場合

月額525円(年額6300円)

日経パソコンEduのお問い合わせ先

電話: **03-6811-8087** (日経BPマーケティング チャンネル営業部)

Webサイト: <http://pc.nikkeibp.co.jp/npc/pcedu/>

* 末尾にある「お問い合わせ」フォームからご連絡ください

日経パソコンEdu導入事例

甲南大学 マネジメント創造学部

必修講義のテキストとして授業で活用 Officeソフトの操作を迷わず習得

甲南大学 マネジメント創造学部では、情報処理の基本を学ぶ講義「ITベーシック」の教材として、日経パソコンEduを採用しました。ITベーシックは、全ての新生が入学後、受講すべき必修の講義です。情報モラルの基本や、Officeソフトなどの操作を習得します。

講義で主に活用したのは、Wordを使ったレポート作成や、Excelに

よるグラフ作成などのコンテンツです。日経パソコンEduには、Officeをはじめとした各種ソフトの使い方や活用方法の解説が充実しています。学生からは「画面がたくさん入っていて、手順も詳しく解説されていたため、迷わず操作できた」との声が多数上がっています。

授業で出される課題に取り組む際も、日経パソコンEduのコンテンツ

甲南大学 マネジメント創造学部(兵庫県西宮市)

経営や経済を中心テーマに、自ら人生を切り開く力を育むための教育を行っている。少人数でのグループワークやプロジェクト型学習を重視するなど、先進的な学習スタイルを実現している。ICTの活用にも力を入れており、多くの授業や自習でパソコンを利用する。



が役立っています。教室に設置されているパソコンで日経パソコンEduのコンテンツを表示させ、手持ちのノートパソコンでソフトを操作する、といった姿があちこちで見られます。スマートフォンやタブレットで日経パソコンEduにアクセスしている学生も少なくありません。

日経パソコンEduの連携書籍も活用しています。この書籍で基本を学び、細かな操作方法は日経パソコンEduで確認する、といった使い方が可能です。

参照しながら課題に取り組む



スマートフォンで閲覧



連携書籍も活用



日経パソコンEdu連携書籍

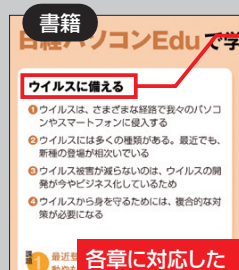
甲南大学が採用した『基本から分かる情報リテラシー』は、日経パソコンEduと連携する書籍です。ICTに関する基礎的な知識やスキルを解説しています。この書籍と日経パソコンEduを組み合わせることで、基礎を書籍で習得し、応用的な内容を日経パソコンEduで学ぶ、という使い方ができます。

日経パソコンEduには書籍専用のページを設け、書籍の各パートごとに関連するコンテンツを集めて掲載しています。理解を深めるための課題や、課題に取り組むために必要なファイルも、日経パソコンEduで提供しています。

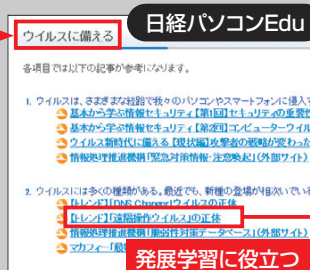


価格:609円
(税込み)

『基本から分かる情報リテラシー』の内容例。図版を豊富に用いながら、要点を分かりやすく解説しています。



各章に対応したページを用意



発展学習に役立つコンテンツの一覧

